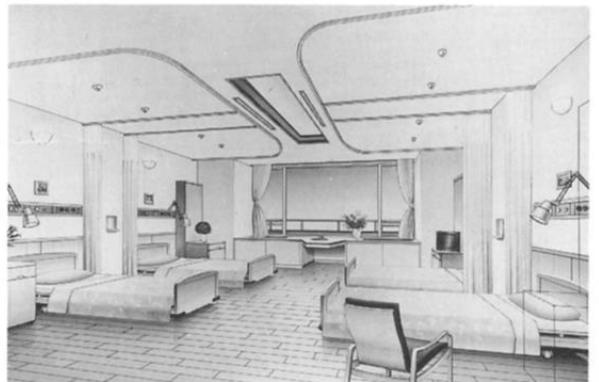




新市民病院の建設が進んでいます！



新市民病院の建設工事は、周辺住民をはじめ、市民の皆さんのご理解・ご協力により、平成九年度の開院をめざし、予定どおり順調に進められています。

本年三月に起工式が行われ、これまでに、基礎の杭打ち工事、地下ピットの鉄筋コンクリート工事など、地下部分の工事が行われてきました。今後は、地上部分の本格的な工事が施工されるようになりますので、皆さんの目で工事の進み具合が確認いただけるようになってまいります。引き続き、工事の進展に伴い、皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

新市民病院の特徴

快適でうるおいのある病院 緑と水に包まれた自然環境を生かし、患者自身の持つ自然回復力を最大限に発揮できるような、快適でうるおいのある医療環境と生活環境を備えた病院にします。

待ち時間の短縮 外来全科において、予約診療の充実を図り、診療などの待ち時間の短縮に努めます。

診療科目を専門分化 内科、外科、整形外科を専門分化して、消化器科や循環器科、形成外科などの六科を新設します。

快適な病室 病室は、四人部屋や二人部屋、個室を基本として、各室に手洗い場やテレビなどを設置し、居住環境を重視したものにします。

県下初の開放型病室 かかりつけの医師の診察を受けている皆さんが、市民病院に入院することになった時に、市民病院の医師と皆さんのかかりつけの医師が協力して診療に当たる病床（四十床）が設けられます。これを開放型病床といい、県下で初めて導入されるシステムです。

皆さんのご意見を

市では、現市民病院の移転（九年度）後の跡地利用について、検討を進めています。そこで、土地利用（建物も含め）について、市民の皆さんのご意見を参考にさせていただきたいと思っております。なお、現市民病院の敷地面積は、一一、八五二平方メートルです。

ご意見は、十一月三十日（木）までに文書で、市役所企画調整課（〒443旭町17-1）へお寄せください。

= 新市民病院の施設概要 =

敷地面積 48,709.00㎡

建築床面積 27,256.01㎡

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 8階建